

宮津市公共施設再編方針書（案）市民説明会での質疑応答一覧

説明会	開催日	質 問	回 答
市民説明会（みやづ歴史の館）	7/17	市役所庁舎の大規模改修に約15億円以上、宮津会館の大規模改修に約10億円以上かかるとのことですが、この数値は、専門の方が設計積算を行った上での実数値ですか。	数値に関しては、建物の構造毎に分類し、それぞれ面積当たりの単価に延床面積を乗じて算出した概算金額となり、現時点で将来の公共施設更新費用を把握するものであります。最終的に、大規模改修を行う際は、実施設計積算を行うことになります。また、金額は大規模改修費であることから、建替となれば、更に費用が嵩むことになります。
		総務省の資料転記で、社会保障関係費が増加、投資的経費が減少しているとのデータが示されたが、宮津市版のデータは作成されていますか。	宮津市だけのデータはないが、全国的に社会保障関係費が増加し、投資的経費が減少しており、本市においても同じ傾向であります。
		文化活動で30年以上にわたり、宮津会館を利用しており、宮津会館が休止となれば、市内にこれに替わる施設がない。老朽化が進んでいるが、1年でも2年でも継続させてほしい。サウンディングを利用した形でもよく、継続を希望したい。	宮津会館は耐震化がされていないのがネック。災害時に、吊天井の落下の危険もあることから、市としては、安全性を確保しなければならない。今後、他市の施設を利用する等、その場合の交通面での費用助成を協議することを検討したい。
		現在、宮津会館が耐震基準を満たしておらず、災害時には避難誘導を行うことを承知で利用している中、何故、今年度末をもって利用休止になるのか。耐震指標からすれば、宮津会館よりも市役所庁舎の方が早急に対処しなければいけないレベルではないか。	市役所庁舎については、大規模改修や立替を行う時期になっているが、財政的に余裕がないのが現状です。こうした中、宮津会館については、管理面でリスクを避けたいということで、今年度末で休止をしたいと考えます。
		宮津会館は、これまで長きにわたり、オーケストラや演劇など多目的に利用されてきた施設であり、今後も子供達に質の良い文化を提供する施設として残すことで、少子化を止める動きにならないでしょうか。これまでにここで様々な大会を行い、市外から来られた方も、宮津の自然の素晴らしさを実感されてきた。どうしたら施設を残せるのか、国の支援等も交えて検討していただきたい。	本市だけでなく、全国的に施設の改修費用だけでなく、維持費も財政的にかなり負担になってきているのが現状です。少子高齢化対策は、今後も市としてしっかりと対処しなければならない課題と考えます。ただ、財政面も大切であり、市民、とりわけ子供達に多大な負担をかけないように、公共施設を再編しなければいけないことも承知いただきたい。

宮津市公共施設再編方針書（案）市民説明会での質疑応答一覧

説明会	開催日	質 問	回 答
市民説明会（みやづ歴史の館）	7/17	<p>今回の公共施設再編は、単に国の施策に即したものではないのか。市は行政が担うべきサービスに集中し、他は民間に任せるように聞こえるが、施設再編など、市として、どのように宮津のまちづくりをしたいのか、よく分からない。</p>	<p>市として財源が不足している中、何とか市民サービスを維持する方策を探っており、今後も宮津市を発展させていく上でも、公共施設を再編していく必要性があると考えます。民間に任せるという意味合いではなく、財政調整基金の残高が約1億円しかないところ、宮津会館の大規模改修費用に約10億円かかり、例えば、宮津会館を文化施設として今後も残せないかと、民間の意見を聴いてみてはどうかといったものです。</p>
		<p>方針書（案）の中で、上宮津保育所が廃止となっている。日置や養老も廃止や用途転用になっており、これは市が行政サービスから手を引き、民間に任せるということになる。こういった市の姿勢で、果たして1ターンやUターンを今後も促進していくことができるのか。除却しなければいけない施設はあると思うが、保育所が公衆用トイレと同列に除却になるのが理解できない。残すべきものと除却しなければいけないもののメリハリを示してほしい。</p>	<p>子供の数が減っているところ、上宮津保育所の今後のあり方については、現在、地域住民と協議を重ねている段階であります。上宮津地区は比較的市街地から遠くないため、保育所を集約していくべく、地域住民としっかりと話をしていきたい。また、定住政策に関しては、市の課題として、市民の意見も交え、対応していきたい。</p>
		<p>再編方針は、3回の市民説明会、9月議会への報告、市長決定のスケジュールで進んでいくようですが、どのような市を作っていくのかということが課題であり、市民の意見を十分に受け入れ、もっと時間を割く必要があると考えます。</p>	<p>公共施設の再編に関しては、本市に限らず、全国的なことであり、避けられない問題であることから、市としては早く進めていきたいと考えます。また、3回の市民説明会、パブリックコメント、検討委員会といった段階を経た上で進めていくこととなります。また、個別施設の具体的な方針については、今後、担当部局が地域住民と協議しながら進めていくことになるので、今回は全体の市の方針を定めたいということで、この日程で進めていきたいので、ご理解をいただきたい。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）市民説明会での質疑応答一覧

説明会	開催日	質 問	回 答
市民説明会（みやづ歴史の館）	7/17	施設再編は避けられない課題であることは認識した。もう少し時間をかけて議論をしたい意向もあり、市民委員に応募したいと考えたが、検討会議が1回しか開催されず、少なすぎるのではないか。また、個別施設は方針書の各フェーズに沿った形で進めていくことになるのか。	市民委員の応募は7月16日に締め切っており、現在のところ、4名の方が応募されています。検討会議の開催は1回を予定しているところ、開催状況によっては複数回に分けることも検討したい。今回は、あくまでも全体的な方針を定めることであり、個別施設計画は、その後、各担当部局が地元説明を行うこととなります。なお、パブリックコメントは、7月28日まで募集しているので、ご留意願いたい。
市民説明会（栗田地区公民館）	7/18	方針では、中津地区集会所は地元へ譲渡、中津児童遊園は除却して小田宿野に集約されることになっている。現在、集会所に関しては、市との契約に基づき、大規模改修などは市が行うことになっていることから、地元へ譲渡されると自治会の財政負担が増えることから再編方針は受け入れがたい。また、子供の数が少なくなっているが、児童遊園を利用するために約1キロ先の小田宿野まで行くとなれば遠いと感じる。近場の児童優先を残してほしい。	現状は理解しました。ただ、集会所、児童遊園は、基本的に方針どおりで進めたいと考えています。今後、個別に担当部局と地元との合意形成を図りながら進めていきたい。現在の施設を残していきたい意思はあるものの、財政再生団体になることは避けなければならない、やはり若い世代に負担をかけてはいけません。
		国の施策等で、施設の集約・複合化を行った成功事例はありますか。	本市の場合、宮津阪急ビルに、福祉教育施設の複合化を行った。市役所庁舎も今後、検討したいと考えています。
		現在、もみじ公園のトイレは休止中になっているが、今後、どうなっていくのか。休止中とはいえ、駐車台数もあり、ゴミが散乱していることもあって清掃が必要である。市は現状を把握しているのか。	方針では、譲渡・除却にしている。譲渡できないとなれば、施設の水洗化工事も困難であるため、残すことは困難であると考えているが、今後、もみじ公園の全体のあり方や地域の活性化を検討したい。
		もみじ公園駐車場は、各地から車が往来しており、由良川を背景としたロケーションを楽しんでおられ、以前はバスも止まっていることがあった。トイレがなくなると、今後どうなっていくのか。地域の想いも踏まえて、方針を検討していただきたい。	意見をしっかりと受け止め、検討していきたい。

宮津市公共施設再編方針書（案）市民説明会での質疑応答一覧

説明会	開催日	質 問	回 答
市民説明会（栗田地区公民館）	7/18	人口減少により、30年後には宮津市の人口が1万人を割る推計になっている。人口の減り方は、市内の各地域で差があるものと考えますが、市としては、そのあたりをどう検討し、人口減少に歯止めをかけていくのか。	現在、宮津市の人口は約17,500人で、今後も人口減少が続いていくものと考えます。若い世代が戻ってこないのが現状で、今後も地域の特性等もしっかりと見極め、考えていきたい。また、宮津市総合計画策定においても、議論したい。
市民説明会（府中地区公民館）	7/18	止まらない人口減少ではあるが、何故、人口減少が起きているのか、市として分析しているのか。	人口減少、少子高齢化は、特に本市に限ったことではなく、全国的な傾向であると考えます。地方創生の施策をしてきたが、都市部一極の動きを止めるには十分な手段は打っていないのが現状です。
		前市長の時、市の赤字を返済し、黒字化したと認識している。それなのに、何故、今になって財政難になっているのか。それは市民の責任ではないのではないか。	住民生活の欠かせない重要な施設の更新時期を迎え、たとえば、ゴミ焼却場の建設、市営タケ丘団地の立替、小学校の耐震化工事など、現市長の以前から財政的に厳しい状況であった。また、平成16年に宮津エネルギー研究所が休止になったことが財政面で厳しい。平成18年以降、職員数を300から200程度に減らしてきているが、財政的には良くないのが現状です。
		今回のコロナにより、市としても今後の社会をどのようにしていくのか考える機会になったのではないかと。再編方針の取り組みは、コロナが蔓延する前であったが、今回のコロナ禍により、市の方針に何か変更等はないか。	アフターコロナに関して、今後、宮津市総合計画でも取り入れていく方向で、しっかりと検討していきたい。
		公共施設の再編に関しては、理解しました。別件で、地元で集会を行う機会があったのですが、コロナのことを危惧され、参加者が著しく少なく、参加する意思があっても、出来ない状況と考えます。今回の説明会にも、参加する意思があっても、出来なかった方がいるのではないかと。このような状況なので、方針決定には、もう少し時間をかけた方が良く考えます。	今回、市民説明会を3回行い、また自治会等から要請があれば、個別に説明に出向くようにしています。公共施設が老朽化している中、施設の個別計画を策定していくには、スケジュールどおり9月に再編方針を決定したいと考えています。また、方針決定に当たっては、今回の説明会の後、検討会議を開催することになっています。
学校施設の再編は、3密のこともあり、慎重に時間をかけて進めるべきではないでしょうか。	今回の再編方針では、学校施設は除外しており、担当部局が令和2年度から3年度にかけて個別に行うことになっています。		

宮津市公共施設再編方針書（案）市民説明会での質疑応答一覧

説明会	開催日	質 問	回 答
市民説明会（府中地区公民館）	7/18	<p>サウンディング調査等、民間を活用していくということですが、宮津の景観を損なわないよう配慮してもらいたい。</p>	<p>民間活用にあたっては、全体に配慮していくことが大切と考えています。市と民間の相互のメリットを追及することになるので、市のまちづくりに対する想いを十分に伝えなければならないと考えます。</p>
		<p>今回の再編方針を策定することで、国からの補助金等が入ってくるのか。</p>	<p>再編方針の策定が、直接的に補助金に結びつくわけではなく、方針を策定し、その後の公共施設個別施設計画を定めないと、国からの支援はないものと考えています。</p>
		<p>ただ施設の床面積を減らし、財政負担を軽減させるのだけは避けた方が良い。宮津の独自の良いものは、出来る限り、今後も活かす方向で考えてほしい。</p>	<p>施設建設の経緯なども踏まえ、配慮していきたい。</p>
		<p>コロナの関係で、最近は対面での集会が減り、今後はネット環境を利用したオンラインでの対話が増えてくるかもしれないが、やはり対面での対話は必要であると考えます。また、これからは住民も行政だけに任せるのではなく、課題に対して、住民も一緒になって考えていくような意識をもってもらいたいと考えます。</p>	<p>貴重なご意見として、受け止めたい。</p>
		<p>宮津の良い所を残したいという強い思いがある中、たとえば、日ヶ谷地区公民館の再編方針が休止・除却等になっている。自然が豊かな市であるのに、地区そのものがなくなってしまう恐れがあるのではないか。</p>	<p>日ヶ谷地区公民館の再編方針はフェーズ3で、すぐに除却等を行うわけではなく、概ね10年超での実施に向けて検討することになっており、利用状況や住民の数など全体を見極めながら、中長期的に進めていくことにしています。</p>

宮津市公共施設再編方針書（案）市民説明会での質疑応答一覧

説明会	開催日	質 問	回 答
市民説明会（府中地区公民館）	7/18	<p>サウンディング調査などの民間活用にあたっては、今後、議論の必要があり、実施する場合、住民に対して、市と民間との協議内容を情報公開していく必要があると考えます。</p>	<p>民間活用する場合、逐一、情報を公開していくことは難しいですが、出来る限りのものを提供していきたいと考えます。例えば、今年の2月にプロポーザル方式により、宮津市公設市場を民間に譲渡しましたが、この際には、事前に仕様書等を定め、相当な期間を設けて、情報を公開し、透明性を確保したと考えています。また、民間活用すれば、すべて成功するというわけではなく、導入にあたっては、市民の理解が必要と考えます。</p>
		<p>今回は、再編方針書を策定されるが、今後、個別に施設を再編していく際、再編方針に即して、強引に決めていくのではないか。</p>	<p>今回は、あくまでも全体的な再編方針の策定であり、今後、個別に施設を再編する際は、担当部局が地域住民としっかりと協議することになります。</p>